



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月6日

上場会社名 旭松食品株式会社 上場取引所 東
コード番号 2911 URL <http://www.asahimatsu.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 足立 恵 (TEL) 06-6306-4121
四半期報告書提出予定日 2024年2月7日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,253	1.6	191	—	242	313.6	200	550.5
2023年3月期第3四半期	6,157	△0.4	0	△100.0	58	△77.3	30	△84.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 348百万円(179.5%) 2023年3月期第3四半期 124百万円(△48.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	108.99	—
2023年3月期第3四半期	16.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	10,405	7,867	75.0
2023年3月期	9,436	7,518	79.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 7,800百万円 2023年3月期 7,458百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	3.3	220	—	280	886.1	200	—	108.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	1,876,588株	2023年3月期	1,876,588株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	32,915株	2023年3月期	41,675株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	1,840,241株	2023年3月期3Q	1,831,586株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う人流の増加やインバウンド需要の増加等により、緩やかな回復基調がみられた一方、ウクライナ情勢や中東地域を巡る緊迫した世界情勢に加え、為替相場の変動や世界的な金融引締めなどの影響により、原材料やエネルギー価格は高騰しており、またその影響などにより各種食料品の値上げが相次いでいることから、消費者の生活防衛意識は依然として高まっております。

食品業界におきましても、世界的な小麦・油脂などの原材料価格や原油価格は落ち着きを取り戻してきているものの高値圏を推移しており包装資材や物流費など各種コストの上昇に加え円安の影響も大きく、価格改定を実施する企業が相次ぎました。今後も更なる物価上昇が懸念され、賃上げが追い付かない消費者の節約意識は一層高まっております。また、その中でも食品に対する安全・安心への要求は依然として強く、高い品質・衛生管理体制の維持・向上が求められており、そのためのコストも増大しております。

このような状況のなか、当社グループでも主要原料である輸入大豆の価格が高止まりしている上、円安の進行もあり経営環境が悪化しております。さらに、原材料価格や物流費の高騰など製造コストの上昇も加わって、収益面への影響は深刻な状況が続いております。このため、2023年6月には凍豆腐で、10月には医療用食材の価格改定を実施しており、企業努力では吸収しきれないコスト増への対応を余儀なくされました。品質面では、HACCPを包括した食品安全の国際規格FSSC22000のバージョンアップなど、一層の向上を図っております。また、合理化、省エネルギー、脱炭素、品質向上のため継続的かつ積極的に設備投資を行うとともに、SDGsに沿った取り組みを引き続き推進しております。具体的には、主力工場である天竜工場での太陽光発電設備への投資に加え2024年1月には高森工場でも太陽光発電設備を稼働いたします。併せて、フードロスの削減に向けた取り組みとして、賞味期限延長可能な商品開発などに取り組んでまいりました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、営業活動の正常化や、価格改定の効果が徐々に表れてきており、売上高は、62億5千3百万円（前年同四半期比1.6%増）となりました。利益面では、引き続き製造コストの低減や経費の削減などを図ってきたほか、売上高増加の影響などもあり営業利益は1億9千1百万円（前年同四半期は0百万円の利益）、経常利益は2億4千2百万円（前年同四半期比313.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億円（同550.5%増）となりました。

部門別概況は、次のとおりであります。

[凍豆腐]

凍豆腐では、需要が微減傾向にある市場の拡大・活性化を図るべく業界団体と協調し、凍豆腐に多く含まれるレジスタントプロテインが、肥満や脂肪肝を予防する健康機能性を訴求するPR活動などを行ってまいりました。また、即食タイプの「TOPURO（トプロ）」や「カップ新あさひ豆腐」、原料大豆にこだわり美味しさ長持ちの「新あさひ豆腐うす切り」シリーズの拡販に努めてまいりました。さらには縮小均衡が続く国内市場への活性化を含め、海外への市場拡大を目指しオランダ・フードバレーに参画し健康機能性の研究を続けております。また、凍豆腐の最需要期となる12月に、関西・長野にてテレビCMを集中投下し、需要喚起を促しました。なお、企業努力では吸収しきれない各種コストの大幅な上昇を受け、収益面でも厳しい状況となっていることから、前年度に続き2023年6月より価格改定を実施しており、その結果、売上高は28億7千8百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。

[加工食品(即席みそ汁等)]

加工食品では、単品収益管理の徹底により収益力の改善を図るため商品の改廃を進めてまいりました。特に、カップ入りタイプのオートミールは健康志向の方に評価が高く新たに具材入り商品のアイテムアップなど品揃えを強化してまいりました。また、即席カップスープ関係は一部価格改定を実施いたしました。その結果、売上高は17億7千4百万円（同1.5%増）となりました。

[その他食料品]

その他食料品の売上高は16億1百万円（同1.1%減）と減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の資産合計は、前連結会計年度に比べ9億6千9百万円増加し104億5百万円（前連結会計年度比10.3%増）となりました。これは、現金及び預金の増加2億8千9百万円や最需要期での販売増による受取手形及び売掛金の増加4億7千6百万円、高森工場での太陽光発電設備への投資などによる有形固定資産の増加7千1百万円があったことが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度に比べ6億2千万円増加し25億3千8百万円（同32.3%増）となりました。これは、未払金の増加1億3千4百万円や短期借入金の増加2億4千8百万円、長期借入金の増加9千6百万円が主な要因です。

当第3四半期連結会計期間の純資産合計は、前連結会計年度に比べ3億4千9百万円増加し78億6千7百万円（同4.6%増）となりました。これは利益剰余金の増加1億8千万円やその他有価証券評価差額金の増加9千4百万円、為替換算調整勘定の増加4千5百万円などがあったことによるものです。

以上により自己資本比率は前連結会計年度に比べ4.0ポイント減少し75.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,838,752	2,127,912
受取手形及び売掛金	1,408,870	1,885,403
棚卸資産	1,220,148	1,213,725
その他	72,029	96,044
貸倒引当金	△5,367	△4,852
流動資産合計	4,534,433	5,318,232
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,976,055	6,033,812
減価償却累計額	△4,873,475	△4,964,311
建物及び構築物（純額）	1,102,580	1,069,500
機械装置及び運搬具	7,075,716	7,200,474
減価償却累計額	△5,915,412	△6,074,916
機械装置及び運搬具（純額）	1,160,303	1,125,558
土地	1,703,573	1,703,573
リース資産	218,416	215,127
減価償却累計額	△169,793	△157,322
リース資産（純額）	48,622	57,804
建設仮勘定	8,830	140,547
その他	471,160	484,494
減価償却累計額	△391,558	△406,272
その他（純額）	79,602	78,222
有形固定資産合計	4,103,512	4,175,207
無形固定資産	164,400	168,557
投資その他の資産		
投資有価証券	591,745	693,829
繰延税金資産	3,302	1,664
その他	39,233	48,410
投資その他の資産合計	634,281	743,904
固定資産合計	4,902,195	5,087,669
資産合計	9,436,629	10,405,902

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	618,276	645,257
短期借入金	289,112	537,704
リース債務	20,627	22,157
未払金	258,209	392,264
未払法人税等	-	58,643
賞与引当金	33,951	28,396
設備関係支払手形	60,992	31,585
その他	125,344	207,544
流動負債合計	1,406,514	1,923,553
固定負債		
長期借入金	340,540	437,436
リース債務	33,225	41,658
長期未払金	37,771	35,770
繰延税金負債	44,869	44,614
資産除去債務	48,920	48,866
その他	6,700	6,700
固定負債合計	512,027	615,046
負債合計	1,918,541	2,538,599
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	4,120,609	4,300,827
自己株式	△100,229	△78,720
株主資本合計	7,270,648	7,472,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,537	134,086
為替換算調整勘定	148,196	193,656
その他の包括利益累計額合計	187,733	327,743
非支配株主持分	59,705	67,184
純資産合計	7,518,087	7,867,302
負債純資産合計	9,436,629	10,405,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	6,157,824	6,253,983
売上原価	4,545,911	4,497,728
売上総利益	1,611,912	1,756,254
販売費及び一般管理費	1,611,907	1,564,750
営業利益	5	191,504
営業外収益		
受取利息	2,093	5,310
受取配当金	16,557	16,661
受取賃貸料	3,466	3,704
受取保険金	1,617	12
受取技術料	36,040	23,551
補助金収入	2,792	1,781
雑収入	5,626	6,671
営業外収益合計	68,194	57,695
営業外費用		
支払利息	2,684	2,681
賃貸収入原価	4,009	3,183
雑損失	2,942	1,092
営業外費用合計	9,636	6,957
経常利益	58,562	242,242
特別利益		
固定資産売却益	345	964
投資有価証券売却益	35,030	3,036
特別利益合計	35,375	4,001
特別損失		
固定資産除却損	3,099	2,415
特別損失合計	3,099	2,415
税金等調整前四半期純利益	90,839	243,827
法人税、住民税及び事業税	20,327	50,371
法人税等調整額	38,941	△9,534
法人税等合計	59,268	40,837
四半期純利益	31,570	202,990
非支配株主に帰属する四半期純利益	739	2,427
親会社株主に帰属する四半期純利益	30,831	200,562

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	31,570	202,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,653	94,548
為替換算調整勘定	70,299	50,511
その他の包括利益合計	92,953	145,060
四半期包括利益	124,523	348,050
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116,754	340,571
非支配株主に係る四半期包括利益	7,769	7,478

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、食料品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

(単位：千円)

	売上区分			合計
	凍豆腐	加工食品 (即席みそ汁等)	その他食料品	
一時点で移転される財	2,790,247	1,748,291	1,619,285	6,157,824
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	2,790,247	1,748,291	1,619,285	6,157,824
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,790,247	1,748,291	1,619,285	6,157,824

当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

(単位：千円)

	売上区分			合計
	凍豆腐	加工食品 (即席みそ汁等)	その他食料品	
一時点で移転される財	2,878,254	1,774,250	1,601,477	6,253,983
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	2,878,254	1,774,250	1,601,477	6,253,983
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,878,254	1,774,250	1,601,477	6,253,983